

保護者が支える学校行事 ～金峰山遠行での取組～

吹上高等学校 PTA会長 檜物 茂広 ひもの しげひろ

本校は今年、創立90周年を迎える専門高校です。設置学科は、電気・電子機械・情報処理の3学科で、それぞれ各学年1クラスずつあり、現在は、350人が在籍しています。

今回は、特色のあるPTA活動として、学校と保護者とが一致団結して創り上げる行事があればという思いで平成11年から始まった、「金峰山遠行」でのPTAの取組を紹介します。

金峰山遠行とは

南さつま市の金峰山（標高634m）に登り、本校に戻ってくる往復28kmで行われます。完走して順位やタイムを競う子どもから、制限時間内の完歩を目指す子どもまで、体力に応じた目標を設定できます。

保護者の協力

金峰山遠行の準備は前日から始まります。20人ほどが午後から調理実習室で、豚汁に必要な野菜等を切ります。

当日は全体で70人ほどのPTA会員の参加があります。朝8時頃から、保健体育部を中心に20人ほどで豚汁を作ります。

4か所の給水所では、それぞれ10人ほどが配置され、麦茶や、当日参加できなかった保護者が提供した、飴やチョコレトなどを準備して生徒の

ために待機します。特に山頂の給水所は折り返し地点ですので、20人ほどで対応しています。テントを張つたり、山頂には水道がないので、500リットルのポリタンクを運んだり大変です。

ポリタンクは、かつては市から借りて使用していたのですが、平成24年度のPTA会長が、休日を利用し専用のものを作られました。今でも、それを使用しています。

元PTA会長の協力

第1回の金峰山遠行が開催されたときのPTA会長が、その時以来ずっとボランティアで設置している給水所もあります。今年で17回目になりますが、その当時から振る舞っていた「がね」が、今でも子どもたちに大人気です。

また、子どもが卒業し

てからも、吹高と関わっていきたいという気持ちから、平成24年に「えんこう会」という本校を応援する元PTA会長の会が作られました。

我が子が卒業した後も、変わらぬ愛情を本校に注いでいただき、感謝をしています。

おわりに

ゴール後の子どもたちの表情や、まだゴールしていない仲間を応援しに行く姿を見ると、遠行で達成感を味わった子どもたちだからこそ、自分自身を認め、他者を尊重することができるのだと強く感じます。

子どもたちの育成のために、これからも、学校と家庭とが協力していくことができればと思います。



金峰山遠行の当日の豚汁作りの様子